

目次

- 1面 役員あいさつ・役員一覧
総会報告・委員会活動内容
- 2面 広報紙コンクール
- 3面 日P全国大会兵庫大会
組織検討委員会研修会
国内研修事業
- 4面 県PTA安全互助会

新潟県 P T A

No.107

発行 新潟県小中学校PTA連合会
編集 広報委員会
 〒950-0965
 新潟市中央区新光町7番地2
 新潟県商工会館5階
Mail ngtknpta@coral.ocn.ne.jp
 ホームページもぜひご覧ください!
 新潟県PTA連合会

県P連 スローガン

子どもたちの未来に希望と夢を、地域で育てる生きる力



子どもたちのために 会長 板倉 久徳

日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。私は、今年度より平石会長の後任として会長を仰せつかりました新発田市P連所属の板倉と申します。よろしくお願いたします。

新潟県小中学校PTA連合会は昨年、多くの会員の皆様のご協力のおかげによりまして、日本PTA全国研究大会を新潟市小中学校PTA

新潟県小中学校PTA連合会総会 板倉新会長の下、新体制発足

2019年度の新潟県小中学校PTA連合会総会が、6月8日(土)に新潟アルサを会場に開催されました。

平石祥吉会長のあいさつに続き、新潟県生涯学習推進課長の信田直樹様より、県教育長からの祝辞を披露いただきました。来賓紹介に続き、第17回新潟県小中学校PTA広報紙コンクールの表彰式を行い、各賞に輝いたPTAに表彰状が授与されました。

表彰式終了後に、糸魚川市P連の山口正人氏が議長に選出され、議事に入り



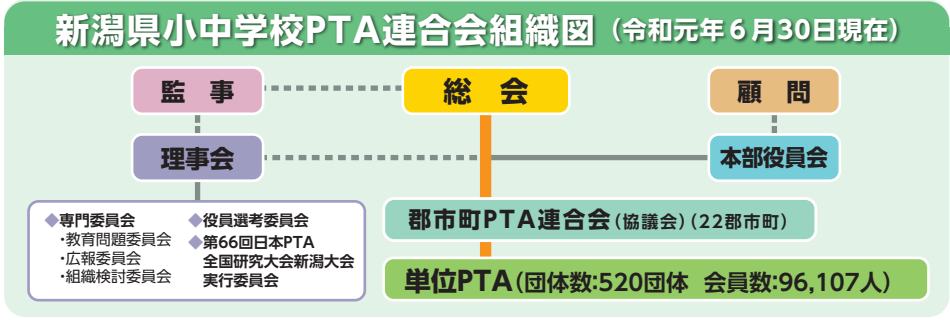
最後に、第59回新潟県小中学校PTA研究大会十日町津南大会についての説明があり、全日程を終了しました。(広報委員 下村 克実)

思っております。この大会の運営に携わった方々や大会に参加された方々が得たものを、一つでも多く各都市や単位PTAに持ち帰って、お役に立てていただけたら幸いです。

最後になります。今年度県P連では、組織検討委員会、広報問題委員会、広報委員会の各専門委員会の活動のほか、日本PTA全国協議会や新潟県教育委員会、県PTA安全互助会とも連携しながら、今年度県P連では、組織検討委員会、広報問題委員会、広報委員会の各専門委員会の活動のほか、日本PTA全国協議会や新潟県教育委員会、県PTA安全互助会とも連携しながら



高橋朋弘副会長 笠井勝也副会長
 板倉久徳会長
 太刀川歩美副会長 山口裕子副会長



2019年度 役員

役職	所属	氏名
会長	新発田	板倉 久徳
副会長	長岡市出雲崎町	太刀川歩美
副会長	糸魚川	笠井 勝也
副会長	見 附	山口 裕子
副会長	新発田	高橋 朋弘
監 事	小学校長会	高橋いづみ
監 事	村上市岩船郡	石田 浩二
監 事	佐 渡	川上 巧
理 事	上 越	吉野 浩幸
理 事	上 越	久保田和幸
理 事	糸魚川	倉又 聖
理 事	妙 高	芦野 昌代
理 事	長岡市出雲崎町	古川原 涉
理 事	長岡市出雲崎町	高橋 明子
理 事	長岡市出雲崎町	大貫 佳代
理 事	三 条	佐藤 道春
理 事	柏 崎	布施 真
理 事	加 茂	中野 雅也
理 事	見 附	五十嵐幸恵
理 事	小千谷	石上 香織
理 事	十日町市津南町	羽鳥 高史
理 事	南魚沼郡市	古藤 嘉一

役職	所属	氏名
理 事	魚 沼	小林 俊彦
理 事	南蒲原	豊田 誠
理 事	新発田	池田 智昭
理 事	五 泉	井野元広樹
理 事	燕・弥彦	下村 克実
理 事	村上市岩船郡	藤田 亮
理 事	阿賀野	関 佑
理 事	佐 渡	岩月 祐護
理 事	胎 内	安原 一也
理 事	聖 籠	安夙 学
理 事	阿 賀	小池 賢
理 事	小学校長会	吉井 純子
理 事	中学校長会	五十嵐喜代春
理 事	教職員組合	米澤 祐児
理 事	教職員組合	徳橋 和人
顧問	小学校長会	吉田 隆
顧問	中学校長会	佐藤 幹夫
顧問	県P連	平石 祥吉
顧問	県P連	齊藤 知之
顧問	県P連	岩淵里江子
顧問	県P連	榎本恵美子
事務局長	県P連	山下あい子

教育問題委員会の活動 委員長 布施 真

当委員会では今年度、子どもの教育環境について研修会を行います。

研修会では、「テーマを「家庭教育」として、反抗期の子どもとの接し方について、講師をお招きして心理学的観点からの講演を11月に予定しております。

また、ネットトラブルやネットリテラシー、いじめ問題への理解を高めるために、県P連役員自身が興味を持ち、関心や意識を高め取り組んでいきたいと考えております。

組織検討委員会の活動 委員長 五十嵐 幸恵

日P全国研究大会新潟大会も無事終了し、今年度は、本来の委員会活動へ戻ることになりました。

7月に委員会主催の研修会を行いました。今年1月末に文科省より通達された「学校における働き方改革」について、学校の現状についての講話、グループ討議と発表という形で実施しました。(詳細は3ページ参照)

今後また皆さんの意見や情報を交換できる研修会等に行いたいと考えております。

広報委員会の活動 委員長 古川原 涉

本委員会は、2回の広報紙作成が主な活動です。

広報紙コンクール、三行詩コンクール、日本PTAや各研修会報告等を掲載していきます。県PTA連合会の活動を、皆様へ分かりやすく伝えられるように紙面作りを行います。ホームページもありますので、ご覧いただきたいと思います。PTA活動が楽しくなるお手伝いとなるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

第17回 新潟県PTA広報紙コンクール入賞PTA



中学校の部
最優秀賞

糸魚川市立
糸魚川中学校PTA



小学校の部
最優秀賞

見附市立
今町小学校PTA



上越市立城北中学校PTA

中学校の部 優秀賞



胎内市立中条小学校PTA



糸魚川市立糸魚川小学校PTA

小学校の部 優秀賞



妙高市立新井中学校 父母と教師の会



燕市立吉田中学校PTA

中学校の部 奨励賞



糸魚川市立能生小学校PTA



出雲崎町立出雲崎小学校PTA



五泉市立村松小学校PTA

小学校の部 奨励賞

広報紙を読ませていただき、新聞社がこのごろ抱える悩みがふと浮かびました。

読み手の皆さんが多忙なので、読んでいる時間がないと聞こえてきます。本当はあれもこれも伝えたいし、各記事の最後まで読んでほしい。しかし世間の多忙がそれを許さない。

ぼらぼらと新聞をめくり各記事の見出しをざっと眺める。見出しで気になったものだけ記事に目を通す。残念ながら、そういう読み方が増えつつあります。

家庭や学校からも聞こえてきます。保護者の方々も多忙。さらに教員の過重労働は社会

問題となっております。部活のあり方を含め、負担軽減策があれこれ聞かれます。

こうした時代背景は、広報紙の作り方にも示唆を与えます。

この点、小学校の部で最優秀賞となった見附市立今町小学校PTAによる「ふたば」は簡潔明瞭といえます。文章がコンパクトにまとめられているので、さっと読める。目立たせたいものは見出しを工夫し、訴えかけます。

中学校の部で最優秀賞に選ばれた糸魚川中PTAの「笑顔」は、第一印象となる表紙が凝っています。手に取った瞬間、毎号違う卒業生が「笑

顔」の題字を書くというのも面白い。

多くの候補作を拝見すると、広報委員による座談会があり、手書きのイラストもあり、甲乙つけがたい力作ばかりでした。

家庭と学校、地域をどうつなぐか、悩む編集担当の方々の姿が目につかれます。カラーコピーで仕立てたものも決して手抜きとは思いません。これもひとつの選択でしょう。

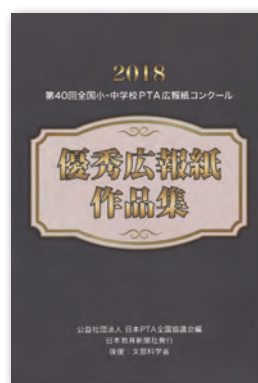
こうした広報紙をめくる瞬間が、ほっとする時間であることを願います。

第17回新潟県PTA広報紙コンクールの審査を終えて

新潟日報社編集局報道部長 今野 洋史



表彰式の様子



優秀広報紙作品集 (日本PTAのHPで購入可)

【小学校の部】

賞	PTA名	広報紙名
佳作	柏崎市立榎原小学校PTA	まきはら
佳作	南魚沼市立五十沢小学校PTA	きずな
佳作	上越市立大島小学校PTA	あした大きく
佳作	五泉市立大蒲原小学校PTA	雄飛(YUHI)
佳作	柏崎市立柏崎小学校PTA	かしわ
佳作	阿賀野市立神山小学校PTA	かみやま
佳作	燕市立吉田南小学校PTA	吉田南小学校PTAだより

【中学校の部】

賞	PTA名	広報紙名
佳作	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校PTA	飛翔
佳作	上越市立大潟町中学校PTA	砂丘
佳作	五泉市立川東中学校PTA	阿賀早出(あがはいで)



第67回日本PTA全国研究大会

兵庫大会

令和元年8月23日(金)〜24日(土)

全体会(神戸市ワールド記念ホール)

記念講演 『子育ては、心理学でラクになる』

講師 メンタリスト DaiGo 氏

兵庫県発の劇団、百年を超える伝統に裏打ちされた宝塚OGレビューショーで幕を開けた歓迎アトラクション。八千名を超える参加者で埋め尽くされた会場は、割れんばかりの拍手と歓声に包まれた。

その興奮冷めやらぬ間に開会式、大会参集省はじめ各位の祝辞の後、メンタリスト DaiGoさんによる記念講演が行われた。

いじめられた経験をひきつづ、「イジメられ」パイラルからの脱却を図らんと、自ら行動することに目覚めたのは中学2年のとき。自己改善への実践と努力で別人へと変貌をとげ、今やメディアでは押しも押されぬ結婚・子育ての経験はないものの、目の前を「ラク」にこなす術について、見事な情報量と抜群の説得力で講演し、またたく間に終盤へ。最後に質疑応答があり、満場納得の結びであった。

次回開催地は富山県。「とやまなび」を旗印に、赤いTシャツ350名によるPRで、今大会は大成のうちに幕を閉じた。(三条市P連 佐藤 道春)

※DaiGoさんの講演内容はYouTubeでご覧ください。



近年、社会の変化に伴い、学校が抱える課題が多様化する中、文部科学省より「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」が通達されました。

組織検討委員会では、ここに焦点を当て、保護者や地域がどのように関わっていったらよいかを考えるべく、7月13日に十日町市で研修会を開催しました。

講師として、県校長会より吉井純子先生と五十嵐喜代春先生のお二人から、小・中学校の教職員の勤務実態などをお話しいただきました。吉井先生からは、一日の流れを中心に、ご自身の体験談も交えながら、この10年程で目まぐるしく変化してきた小学校の教育現場の「昔と今」の違い、英語やプログラミング教育への対応の難しさ等についてお話しいただきました。

五十嵐先生からは、部活動に関わる中学校教員の勤務実態や、多感な年代の子どもたちに十分接する時間を確保するため、市教育委員会と連携を取りながらの、市全体での取組等についてお話しいただきました。

また、保護者への対応についての話もあり、参加者を含めて私自身も深く考えさせられました。続いてのグループ討議

では、小・中学校に分かれ、活発に意見交換がなされました。その後の発表においても、参加者から多くの声が上がっていました。

今回の研修会での様々な意見を各地域に伝えていきたいと思えます。(組織検討委員長 五十嵐 幸恵)

現状と課題として、子どもを取り巻く環境は、ネットやSNSの普及によって急速に変化したこと

〇心を休める場所や時間を確保することが容易でなくなったことが事実としてあります。

高橋氏は、「いじめを発見しにくいのはなぜか?」という問いを、大学生と大学院生に調査し、その理由を「子

どもの要因」「学校・教師の要因」「発見方法の不備」に大きく分類されました。

調査の結果として、〇被害者の要因:相談や援助要請できない。親に心配をかける。親に心配をかける。親に心配をかける。

〇周囲の状況:仕返しや怖くて言えない。チクったと言われる。悪化すると思う。周囲が無関心、見て見ぬ

ふり。おどごとしたくない。面倒。クラスの雰囲気が悪い。などがあげられました。私たちができることは、このような状況にあることをしっかりと理解して活かし、早期発見と未然防止に取り組む、子どもの命を守ることを改めて強く思いました。(副会長 笠井 勝也)

特別第1分科会 『日本PTA全国協議会担当(姫路市文化センター) 基調講演 『いじめ』なんてかっこわるい!』

〜我が子を当事者にさせないために〜 上越教育大学大学院教授 高橋 知己 氏

組織検討委員会研修会 『学校での働き方改革』の現状と改善案

公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン(文部科学省) (H31.1.25)

〇時間外勤務の上限は、年間360時間を超えない、月45時間を超えないこと(土・日含む) 年360時間÷12か月=月平均30時間 多い月の分は、他の月を減らす? 例:平日朝15分前に出勤×週5日×4週=5時間 平日19時まで2.3時間残業(部活含む)×週5日×4週=46時間 月計51時間 ▲オーバー さらに中学校で 土曜に部活動3時間×4回=12時間 で月計63時間 ▲オーバー

小学校では... 〇学級担任以外の教員は校長・教頭+1名程度 先生の年休や出張が重なると... 〇子どもが帰るまで、ほとんど空きの時間がない。 授業+その他の業務 連絡帳のチェック、学童保育への欠席連絡、プール監視は複数必要、玄関まで見送り 〇2020年度 新学習指導要領完全実施 → 英語やプログラミング学習の指導も

中学校では... 〇部活動指導だけで上限360時間の約80% 授業準備、生徒指導対応の時間を足すと? 教師の専門性を生かし、授業改善や子どもたちと接する時間を確保するため 目的達成のための時間をどう生み出すか? 業務量を減らすか人を増やすか?

保護者・地域とのかかわりを考えてみると... (改善案) あなたの地域や学校では? 〇人手不足解消 保護者や地域ボランティアの支援(交通指導、プール監視、部活動指導) 外部委託・担当者雇用(部活動指導、都市P連事務局) トップアスリートの育成は、社会体育や地域型クラブへ移行する。 市町村・市町村教育委員会・自治会等への要望・働きかけを行う。

〇業務内容の見直し PTA業務(会議の回数を減らす、開始時間を早める、PTA行事の簡素化) 連絡帳は必要時のみ、通知表の簡素化、学校行事の簡素化 電話対応の制限(18:30以降は留守電対応か市教委が対応)

編集後記

令和元年、板倉会長のもと、新体制となって最初の広報紙です。昨年は、日P新潟大会での各地域の力を入れた分科会の紹介でした。今年も、最初から最後までワクワクできた大会であったと思います。広報紙コンクールでは、広報紙で思いを伝える難しさに、どの学校も工夫をこらして読者に伝わる表現がされており、私自身感動しました。 今回の広報紙発行にあたり、ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。(広報委員 池田 智昭)

平成30年度 日本PTA国内研修事業 参加報告 国内研修 in 渡嘉敷村

たくさんの“出逢い”に感謝!! 小千谷市 丸山 歌莉留 さん

今回の研修で私は、言葉では表現できないほど、すばらしい体験をしてきました。 1日目、全国から115人の中学2年生が集まり、仲良くなれるか少し不安でしたが、すぐに打ち解けることができました。 2日目は平和学習で地元の人から悲惨な戦争の話を教えていただき、この渡嘉敷村で集団自決があったと知り、ショックを受けました。そして野外炊事。グループで協力し、最高においしいカレーを作りました。その後の待ちに待った海洋研修では、ケラマブルーの綺麗な海でサンゴ礁やカラフルな魚を見て、夢のようなひとときでした。 3日目はワークショップでフラダンスをしました。初めてだったので、踊れるか心配だったけど、地元の方からアドバイスや励ましをもらい、大交流会では笑顔で楽しく披露することができました。 4日目は村の人達に向けてのメッセージ発表や、夜には最後のグループミーティングをしました。最後の夜だったので、私はもっとみんなと一緒にいたいという気持ちでいっぱいでした。 私はこの5日間で、地域の方や他の県の人達など、たくさんの人と関わることができました。この多くの人とのつながりを大切に、これからも色々なことに挑戦していきたいです。国内研修でたくさんの人に“出逢えた”ことがとてもうれしかったです。ありがとうございました!



平成31年3月27日(水)~3月31日(日)に、沖縄県渡嘉敷島 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家で、全国の中学2年生を対象に国内研修が行われました。沖縄県渡嘉敷村の方々との交流を通じて多様な文化・平和についての理解を深めたり、環境保護について考えたり、集団宿泊行動を通してコミュニケーション力を高めたりすることを目的に行われました。新潟県内から17名の参加応募があり、代表として2名が参加しました。

感謝と平和への想い 刈羽村 入澤 快斗 さん

私は、この研修で、2つのことを感じました。それは、色々な体験をして「楽しかった」ということと、「戦争と平和について考えた」ということです。 一つ目の「楽しかった」というのは、研修日初日から班のみんなが話しかけてくれたりして、とても過ごしやすいからでした。野外炊事をして、米がカチカチだったり、カレーのルーが水みたいになったりと、失敗をして、みんなとたくさん笑い合いました。海洋研修では、慣れないフィンで豪快に斬ったり、カヤックに乗ってひっくり返ったりと、とても楽しく、貴重な体験をさせていただきました。他にも、サーターアンダギー作りでは、大きくし過ぎて焦がしてしまったり、島の人達との大交流会では、民俗芸能を見ながら、おいしいマグロを食べたりと、友達と時間を忘れる程、楽しい時間を過ごしました。 二つ目の「戦争と平和について考えた」というのは、沖縄の歴史や戦争について勉強したことにあわせ、368人の集団自決があった3月28日に、慰霊碑に行き、千羽鶴を全員で捧げ、祈る機会があったからです。戦争を知らない私達中学生にとって、とても貴重な体験となりました。 最後にこの5日間を通して、色々なことに「感謝の気持ち」を持てるようになりました。この研修で出会ったスタッフの方々、大学生のリーダーや全国から集まった同学年の友達への感謝、生んでくれた両親や先祖への感謝、平和であることへの感謝です。私はこの感謝を忘れないように、そして、今ある平和は、あたりまえではないということをこれからも伝えていきたいと思えます。



(一社)新潟県PTA安全互助会からのお知らせ

安全普及啓発活動に 助成します!

助成額 単位PTA 2万円以内・郡市P連 5万円以内
(申請は通算5回まで)

申請方法

申請書等の様式のダウンロードは、ホームページで検索してください。

新潟県PTA連合会 → (一社)新潟県PTA安全互助会のページ

◎必ず活動前に申請が必要です。

新潟県・新潟市P連所属のPTA会員の安全と健康に関する意識の向上を図り、その活動を奨励するために助成金を交付しています。

申請事例

- 講習会(自転車交通安全教室、救急法、自転車安全点検、護身術、防災、スポーツ障害予防 等)
- 講演会・研修会(いじめ・ネットトラブル防止、人間関係づくり、特別支援、依存症対策、うつ病・自殺予防 等)
- その他(危険看板製作、パトロールジャンパー製作、安全マップ作り、危険箇所の修繕・除草 等)

新潟県小中学校PTA連合会・新潟市小中学校PTA連合会 推薦

2019年度 小・中学生総合補償制度追加募集のお知らせ

(団体総合生活保険)

中途加入受付中!! 毎月25日までに加入 → **翌月1日から補償**

特長1 お子様を加害者に!?

示談代行付き
個人賠償責任補償で安心!

自転車走行中に歩行者と衝突...



特長2 お子様ケガ

24時間補償で安心!
熱中症、細菌性食中毒も補償!

スポーツで転んでケガをしてしまった...



特長3 幅広い補償

幅広い補償 インフルエンザも対象
病気で入院した場合の医療補償
(P5・M5プラン)

お子様が突然の病気で入院...



**「もしも」が起こった時に大切なお子様を
24時間いつでもどこでもお守りする
「備え」のご案内です**

特長4

1万人以上の加入で団体割引等の適用により
約51%割安 年間掛金3,000円~
加入できます

簡単! ご加入手続きは記入・投函するだけ!

学校から配布される**ピンク色の封筒**をご確認ください。
加入依頼書を記入し返信用封筒にてご返送ください。
10月以降加入の場合の保険料は下記にお問い合わせください。



このチラシは団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

各種補償制度の概要

傷害補償は他の制度の給付に関係なく保険金をお支払いします。(一部特約を除く)

補償される活動範囲	日本スポーツ振興センター 災害共済給付制度	小中学生総合補償制度
補償される活動範囲	授業中 登下校中 等	24時間
保険の対象	児童・生徒	児童・生徒 個人賠償責任補償は同居の家族も
加入の方法	学校一括加入	個人(任意加入)
体育の授業中、手首を骨折した	○	○
自転車で登校中に転んでケガをした	○	○
放課後、公園でサッカーをしてケガをした	×	○
PTA主催のお祭りでケガをした	×	○
スポーツ少年団の練習でケガをした	×	○
夏休みに学童保育で走り回っていてケガをした	×	○
自転車で他人にぶつかりケガをさせた	×	○
放課後に野球をして近所の窓ガラスを割った	×	○
O-157に感染し入院した	×	○
病気により入院した	×	○ (P5・M5プランのみ)

制度に関する
お問い合わせ先
(パンフレット請求先)

一般社団法人 新潟県PTA安全互助会事務局
〒950-0965
新潟市中央区新光町7-2 新潟県商工会館5F
TEL **025-280-0456**
(受付時間/月曜~金曜 9:00 ~ 17:00)

【幹事代理店】 有限会社 新潟コーリン
〒950-0965
新潟市中央区新光町7-2 新潟県商工会館5F
TEL **025-280-0361**
(受付時間/月曜~金曜 9:00 ~ 17:00)

【幹事保険会社】 東京海上日動火災保険株式会社
【非幹事保険会社】 共栄火災海上保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
AIG損害保険株式会社